



市民の生命と財産を 優先に

本山 正人(みらい)



問／住宅の耐震診断を継続的に実施しているが、耐震改修に繋がっていない。緊急時、命を守るための耐震シェルターや介護ベッド用防災フレームの設置等を推進するべきではないか。

答／令和6年度予算では、耐震改修補助金の増額など、耐震化に資する取り組みを大幅に拡充した。また、高齢化の進行と住宅の老朽化が重なり、耐震改修への意欲が低下した市民への対応も必要である。市民の生命と財産を守るため、広く耐震化支援制度の活用を呼びかけて、地震に強いまちづくりを推進する。

町内会からの要望事項を優先するべき

問／市が実施する懇談会等で町内会から寄せられる要望事項には速やかに対応するべきであるが、対応の方法や流れを聞きたい。

答／地域政策課や総合事務所が窓口となり、受付後は情報を共有して支障の程度や危険度等を見極め、優先順位を定めて対応を図っている。

市内全小中学校で冬期の体育授業にスキーを

問／当市にはスキー場がある。全小中学校にスキー授業を取り入れられないか。

答／スキー場への移動時間や費用等の保護者の経済的負担が大きい。全ての学校での実施は難しいが、スキー場の積極的利用を働きかけたい。



誰一人置き去りにしない 教育の実現を！

木南 和也(久比岐野)



問／「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCCOLOプラン)に対する具体的な対応について聞きたい。

答／学校における別室登校やICT活用による学習支援、訪問カウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談など、校内支援や校外支援体制の整備をはじめ、教育支援室等の校外の居場所づくりや多様な学びの場の確保に取り組んでいる。

問／「学びの多様な学校」の目指す学校の姿はどのようなものか。また、いつ頃の設置を目標としているのか。

答／不登校児童生徒の「学びたい」を実現する多様な学びの場の1つとして設置の必要性を検討していくものであり、令和6年度中に方向性を決定したいと考えている。

問／フリースクール連絡協議会等の設立に向けた進捗状況と今後の方向性について聞きたい。

答／現段階では連絡協議会のような検討組織は立ち上がっていないが、各施設との連携強化を視野に入れ、実態把握と情報収集に努めている。不登校児童生徒が社会的に自立できるようにするには、社会全体で取り組む必要性があると捉えていることから、フリースクールとの連携・協力体制の在り方や、学びの多様な学校の必要性等の検討も含め、学びの支援体制を構築していく。



鵜の浜温泉街の 観光施策は

山田 忠晴(公明党)



問／鵜の浜温泉は、当市の観光施策においてどのように位置づけられているか。また、地元との意見交換や現地視察はどのように行っているか。

答／観光資源の魅力向上により、多くの観光客から当市を訪れてもらい、鵜の浜温泉を含む周辺の観光施設に足を延ばしてもらうことで、市全体に効果を波及させることを目指す。また、鵜の浜温泉観光組合の新年情報交換会や、海水浴場開設の前後に開催される地元町内会等関係団体が出席する会議に市職員が参加し意見交換を行うとともに、様々なイベントへの参加等を通じて、同温泉街の実情の把握に努めている。



普通自動車運転免許取得支援

問／普通自動車運転免許の取得に伴う多額の費用は家計を圧迫している。若者の地元定着やUターンを促すため、これから地元で働く人や大学、専門学校を卒業して地元で就職が決まった人に市独自の免許取得支援ができないか。

答／現時点では、運転免許取得への支援を行う考えはないが、他の自治体の取り組みについて確認していく。

